

J T A 加盟クラブ 6 月トピックス

2010年6月6日(日)、長崎県立武道館(佐世保市)において
日本テコンドー協会としては、九州初の公認試合となる

第1回九州テコンドー選手権大会

—第21回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会出場選手選考会—
が開催されました。



河明生会長は次のように述べられました。

「東京でJ T Aテコンドーを修行した廣川禎教初段(当時)が、
故郷の長崎県に帰郷し、佐世保テコンドークラブを創設したのが3年余ヶ月前。
その後、北川弘幸1級(当時)が故郷の佐賀県に小城テコンドークラブを
趙哲来二段が単身赴任した福岡県に博多テコンドークラブと筑紫野テコンドークラブを
それぞれ創設し、地道なクラブ運営および努力を重ねた結果、
記念すべき第1回九州テコンドー選手権大会を開催することができました。
九州テコンドー連盟の役員ならびに会員とその家族の皆様には厚く御礼申し上げます。
今後も九州大会は開催しますので、より一層の精進を期待しております。

来年度大会は、全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会組手試合出場選手選考会
として1部組手も実施します。

予選会を通じて組手レベルを向上させ選手層を厚くすることにより九州から
未来のフルコンタクトテコンドー王者が輩出されることを期待してやみません。

また青年部の蹴武の型はもとより

少年少女部の蹴武の型王者も九州から輩出されることを期待しております。

九州大会を成功させたことにより、

日本テコンドー協会の競技的頂点の全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会の全国における予選会整備は、残すところ東北大会と北海道大会のみとなりました。

東北または北海道出身で帰郷を検討しているJ T A有段者のみなさん！

J T Aテコンドーを通じて故郷に貢献しようと考えて下さい！

中国における妹尾将吾、四国における古谷知也、九州における廣川禎教のように地域のJ T Aテコンドー普及のパイオニアとなり

東北における****、北海道における****になって頂きたいと希望しています」